

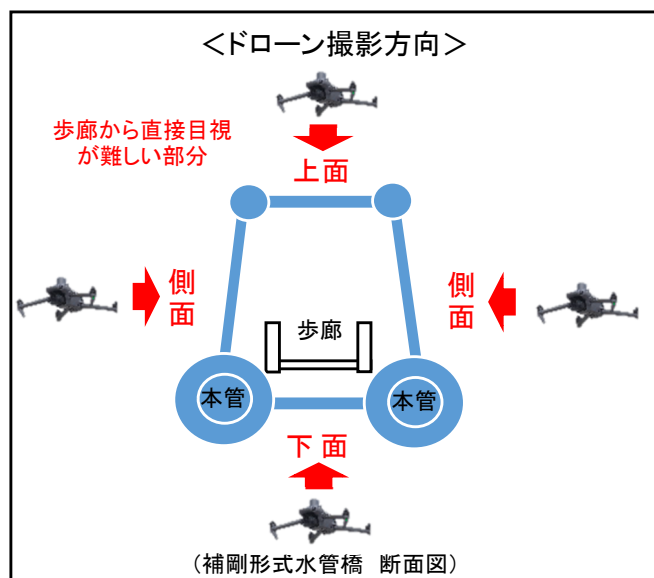
対象施設	水道	取水施設		導水施設		浄水施設		送配水施設		給水装置		その他 ()
	下水道	汚水処理施設		汚泥処理施設		ポンプ場施設		管路施設				
目的		点検調査			劣化予測			施設情報の管理・活用			その他 ()	
要素技術	人工衛星	AI	ビックデータ解析	IoT	センサー	ロボット	ドローン	TVカメラ	スマートメーター	その他 ()		

水管橋ドローン点検

技術評価等 の実績

PRポイント

【技術の概要】



【技術の適用条件・範囲】

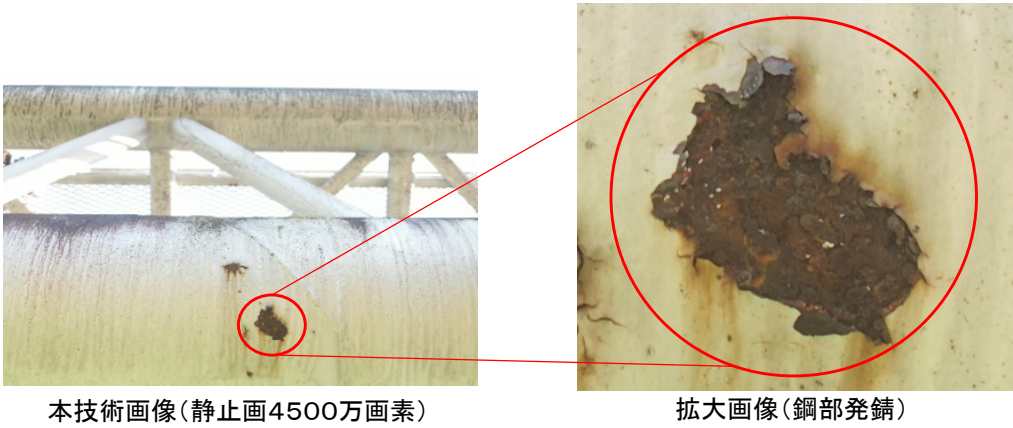
- ・ 法令で定められたドローン飛行禁止区域については適用できません。
- ・ ドローンの進入が困難な場所(草木繁殖・狹隘部等)については適用できません。
- ・ 天候不順(雨天や強風等)の場合は実施日の変更が必要となります。

【コスト】 (山形市での導入事例)

試算条件	逆三角トラス橋 橋長:約213m 径間:5径間 鋼管:800 ^{mm}
イニシャルコスト	約300万円(税抜き)
ランニングコスト	—

【導入効果】

本技術の導入により、水管橋上部工(目視不可部)の劣化状況(表層劣化・発錆・破損状況等)を詳細に把握することが可能となり、正確な診断や適切な点検頻度の設定に寄与します。



【導入実績】

令和5年度末時点で導入件数:0件 (参考)令和6年度末時点で導入件数:1件

導入先	導入範囲	導入年度

!

導入事業者からのコメント :

特許取得状況		
その他		
技術に関するHPリンク		http://www.nichu.co.jp/ 
問合せ先	所属	日本鑄鉄管株式会社 商品技術センター エンジニアリング部
	所在地	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼1番地
	電話番号/E-mail	0480-85-7054 a-sugiyama@nichu.co.jp